

気候変動適応北海道広域協議会 分科会テーマ（案）

1. 釧路湿原の Eco-DRR 機能の活用

メンバー：北海道及び関連する市町村

北海道立総合研究所、道内の研究機関、釧路湿原自然再生協議会 など

- ・ 釧路湿原においてこれまで実施されてきた取組について、Eco-DRR 及び気候変動適応の面から情報を整理。
- ・ Eco-DRR 及び適応策の導入促進の観点から、不足している部分について情報収集※。必要に応じて気候シナリオに基づく将来予測等も実施する。
例)
（気候変動の将来予測に基づく）未利用農地の再湿地化で得られる防災・減災効果測定
- ・ 効果的な適応策の洗い出し、検討。

※調査にあたっては、地域適応コンソーシアム北海道・東北地域事業で実施した「1-6 気温上昇や降水量の変化等による釧路湿原の水環境・生態系への影響調査【北海道】」の成果を活用する。

2. 気候変動による降水の変化等に伴う北海道内の事業活動への影響

メンバー：北海道 及び 市町村

北海道内で活動する企業

北海道立総合研究所、道内の研究機関 ほか

- ・ 北海道内においても、近年台風等による気象災害が増加している。また年降水量も徐々に増加している。将来の気候変動によって降水量の増加や雨の降り方が変化、台風の強度が増大することが懸念されており、これまでの風水害対策では被害を防止できない可能性が高い。
- ・ 将来の気候変動下の降雨パターンの変化等を予測し、官民連携による対応策を検討する。
- ・ 想定されるアクション 例)
（自治体）気候変動影響を加味した防災対策の検討 など
（企業）気象災害を考慮した BCP の策定 など
（自治体と企業の連携）
将来予測を見据えたハザードマップやタイムラインの共有 など

3. 市町村における地域気候変動適応計画策定（アクションプラン対象外）

メンバー：北海道 及び 市町村

- ・道内外の地域気候変動適応計画の策定事例及び情報共有
- ・地域気候変動適応計画策定上の課題の共有、ディスカッション等

以上